

においの感じ方に及ぼす色と色を担う材質の影響

著者名(日)	牛腸 ヒロミ
雑誌名	紀要
巻	VOLN1
ページ	15
発行年	2008-10-01
URL	http://id.nii.ac.jp/1345/00003437/

においの感じ方に及ぼす色と色を担う材質の影響

牛腸ヒロミ

Evaluation of the Influences of Materials and their Colors on Odor Sensing

Hiromi GOCHO

要旨

この研究は、身近にある物体を色を持った材料と考え、その物体に持たせた色と材質がにおいの感じ方にどう影響するかを調べたものである。

刺激として 12 種類のにおい物質を用い、色を担う材料としてはカラーブロード布、ラシヤ紙、染料溶液、色相調整をしたディスプレイを用いた。色は赤、橙、黄、緑、青、紺、紫、白、黒色とした。パネルは 20 歳前後の男女の大学生を各刺激に対して、のべ 50~80 名程度、ランダムに選んだ。SD 評価法により、各評価項目の評定を数値化し、重回帰分析法、因子分析法により多方向から解析した。においの感じ方に及ぼすにおいの種類、色を担う材料、色そのものの影響を検討し、統一的に考察した。

官能評価の結果から、色を担う材料や色によって、においの感じ方は特有な影響を受けることが分かった。これは、手法が官能評価法であるために、においを感じるいろいろな場合に応じて、視覚と嗅覚の間に統合性が働いていることを端的に示しているものと言えよう。